

## 特別企画 ドイツ語教育夏期講座

### —ドイツの言語と文化への招待—

対象：ドイツ語教育に携わっている方、またはドイツ語に関心のある方。

埼玉県内在住または勤務する方

目的：ドイツ語教育についての理解を深める。

期日：平成 29 年 7 月 28 日（金）

会場：文教大学越谷校舎 3号館（3307R）

定員：20 名

#### ◆ 講義内容

##### 講義①「ドイツ語、ドイツ語圏地域についての基礎理解— 多言語・多文化共生社会をめざして」

山川 智子（文教大学）

難民受け入れに積極的なドイツでは、彼らのドイツ語教育が必須の課題となっています。ドイツ語という未知なる言語を学習する難民たちのおかれた状況を知ることは、日本で多言語・多文化共生を考える私たちにとっても参考となる部分が多いはずです。本講座では、ドイツ語とドイツ語教育を社会政策の視点から考えていきます。また、英語と同じゲルマン語派の一つであるドイツ語の特徴や、ドイツ語を楽しく学ぶための工夫を分かりやすく説明します。

##### 講義②「グリム童話と日本の昔話」

野原 章雄（文教大学名誉教授）

グリム童話は 19 世紀初めにヤーコプとヴィルヘルム・グリム兄弟が協力して集め再話したドイツの昔話です。当初読者層は大人を意識したものでしたが、版を重ねるにつれて子供と家庭を対象にするように次第に変わっていきました。日本昔話はどうでしょうか。読者を特に限定しておりません。グリム童話も日本昔話も口伝えの物語です。受け止める庶民の知恵と心はどう反応したのでしょうか。比較検討してみます。

##### 講義③「世界遺産と音楽でめぐるドイツの歴史」

梶谷 雄二（文教大学・兼）

ドイツ語を母国語とする国はドイツだけでなく、オーストリアとスイスがあります。これをドイツ語圏といいます。ドイツではなく、ドイツ語圏の過去と現在を世界遺産や音楽などの芸術作品で巡り、現在三つに分かれているこれらの国々がどうしてドイツ語圏とひとくくりにできるのかを探っていきます。

# 文教大学

## 大学院附属言語文化研究所

### — 講座日程 —

#### 7月28日(金) ※全講座

- 9:40 受付  
10:10 開講式  
10:30~12:00 講義①  
12:00~13:00 — 昼休憩 —  
13:00~14:30 講義②  
14:45~16:15 講義③  
16:15~16:30 閉講式(語学講座のみ)  
16:45~18:00 懇親会 ※無料・自由参加・軽食が出ます。

#### 7月29日(土) ※書写書道講座のみ

- 10:30~12:00 講義④  
12:00~13:00 — 昼休憩 —  
13:00~14:30 講義⑤  
14:45~16:15 講義⑥  
16:15~16:30 閉講式

### 第23回 書写書道教育夏期講座

- A(書文化)コース 講師：吉沢 義和(元文教大学文学部教授)  
書作品の創作と鑑賞について学びます。  
B(学校教育)コース 講師：豊口 和士(文教大学)  
小・中・高等学校教育の現場での書写、書道の指導に必要な基礎基本となる事項について、学びます。

### 第32回 英語教育夏期講座

- 「リフレクション(振り返り)による指導力強化とは？」 講師：渡辺 敦子(文教大学)  
「教科書の可能性を広げよう：クリティカルシンキングと世界市民としての意識を育む task-based 学習法」  
講師：Jennie Roloff Rothman(神田外国語大学)  
「ESPを通して英語教育を考える」 講師：寺内 一(高千穂大学)

### 第16回 日本語教育夏期講座

- 「イランにおける日本語教育—宮沢賢治作品のペルシャ語訳の試みと関連させて—」  
講師：サベル・モガッドム(イラン・テヘラン大学)  
「日本語の慣用表現と日本文化教育の接木」  
講師：文 明載(韓国・韓国外国語大学校)  
「変容しつつある中国珠江デルタの日本語教育」  
講師：周 文匯(中国・北京師範大学珠海分校)

### 第9回 中国語教育夏期講座

- 「中国語で歌う『北国の春』」 講師：館野由香理(文教大学・兼)  
「高校の中国語の授業を体験してみよう」 講師：星野 勝樹(埼玉県立伊奈学園総合高等学校)  
「名詞の訳し方」 講師：徐 瓊(中国・北京外国語大学)

### 特別企画 ドイツ語教育夏期講座

- 「ドイツ語、ドイツ語圏地域についての基礎理解—多言語・多文化共生社会をめざして—」  
講師：山川 智子(文教大学)  
「グリム童話と日本の昔話」 講師：野原 章雄(文教大学名誉教授)  
「世界遺産と音楽でめぐるドイツの歴史」 講師：梶谷 雄二(文教大学・兼)

# 夏期講座

### — お申し込みについて —

受講料：無料 ※但し、資料代として500円  
(書道のみ1,000円)を当日受付にて申し受けます。  
申込締切：平成29年7月14日(金) 必着  
申込方法：HPから申込可能です  
<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/genbun>  
申込先：〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337  
文教大学大学院附属言語文化研究所  
TEL：(048)974-8811(代) (内線2300)  
FAX：(048)974-8012

平成29年7月28日(金)・29日(土)